

木簡研究 第五号

巻頭言——木簡史の研究について——

関 晃

一九八二年出土の木簡

- 概要 平城宮・京跡 平城京二条大路・左京二条二坊十二坪 白毫寺遺跡 藤原宮跡 山田寺跡 阿部六ノ坪遺跡 長岡京跡(1)
- 長岡京跡(2) 長岡京跡(3) 長岡京跡(4) 仁和寺南院跡 大坂城跡
- 梶子遺跡 道場田遺跡 野畑遺跡 穴太遺跡 下野国府跡 下野国府跡寄居地区遺跡 長原東遺跡 多賀城跡 弘田柵跡 日野川朝宮橋下流 桜町遺跡 出合遺跡 辻井遺跡 助三畑遺跡 肩脊堀の内遺跡 草戸千軒町遺跡 田村遺跡 高畑廃寺 藤田遺跡
- 一九七七年以前出土の木簡(五)
- 藤原宮跡

字訓史資料としての平城宮木簡

——古事記の用字法との比較を方法として——

小林 芳規

平城宮出土の衛士関係木簡について

鬼頭 清明

木簡とコンピュータ

田中 琢

書評・『草戸千軒——木簡——』

水藤 真

彙報

頒価 三五〇〇円 一五〇〇円